

2020食品ロス削減とやま宣言

我が国においては、まだ食べることができる食品が、生産、製造、販売、消費等の各段階において日常的に廃棄され、大量の食品ロスが発生しています。

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」において、食料廃棄の半減が重要な目標として位置付けられるなど、食品ロスの削減は、国際的にも重要な課題であり、真摯に取り組むべき喫緊の課題です。

食品ロスの削減は、限られた資源の有効活用につながります。食べ物への敬意・感謝の気持ちを大切に、私たち一人ひとりがそれぞれの立場において主体的にこの課題に取り組み、行動を変革していくことが求められています。

消費者は、食品ロスの削減の重要性について理解を深め、日常のあらゆる場面において、食品ロスの削減を実践します。

事業者は、行政が実施する食品ロスの削減に関する施策に協力するとともに、事業活動に関して食品ロスの削減につながる取組みを実践します。

行政は、食品ロスの削減に向けた取組みが進むよう、関係者と連携強化を図り、機運醸成や各種施策を積極的に推進します。

本日、「食品ロス削減全国大会 in 富山」に集う参加者一同は、この大会を契機として、商慣習の見直しなど先駆的な取組みの輪を日本国内に波及させ、消費者、事業者、行政が連携して、食品ロス削減に向けた取組みのより一層の加速化を図り、持続可能な社会の実現を目指すことを、ここ富山から宣言します。

2020年12月16日

「食品ロス削減全国大会 in 富山」参加者一同

とやま食ロス 検索
<https://foodlosszero.jp/>



本大会の様子は、「とやま食ロスゼロ作戦WEBサイト」にて、期間限定でアーカイブ配信を行います。

食品ロス削減 全国大会 in 富山

～ 使いきり 食べきり すっきり エコライフ ～

令和2年

日時

12月16日(水)

13:30~16:20 (12:00開場)

※パネル・ブース展示は12:00~18:00

会場

富山県民会館

(富山市新総曲輪 4-18)

ご来場される皆様へ
お願いと注意

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大防止対策について
日本国内における新型コロナウイルス感染症の発生に関しまして、富山県では、政府、関係諸機関等から示される正確な情報の収集に努めるとともに、感染拡大の防止に細心の注意を払い、本大会を実施します。会場にお越しいただく皆様におかれましても、手洗いやマスクのご準備、うがいなど、感染拡大防止対策へのご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

食品ロス削減全国大会 in 富山の開催にあたって



富山県知事
新田 八郎

このたび、「食品ロス削減全国大会 in 富山」を開催できますことは誠に喜ばしく、ご参加の皆様を心から歓迎申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか、皆様には、感染拡大防止に向けてご理解、ご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

食品ロス削減は、国連のSDGs（持続可能な開発目標）にも掲げられた重要な世界的課題であり、食料の約6割を海外に依存する我が国も、早急かつ真摯に取り組んでいかなければいけません。

国においては、「食品ロス削減推進法」のもと、国民運動としての食品ロス削減が推進されるとともに、今年3月には「食品ロス削減の推進に関する基本方針」が策定されるなど、取組みが一層強化されています。

食品ロス削減への機運が高まるなか、本県で全国大会を開催できますことは、誠に光栄であり、これまで、県民、企業等と一体となって進めてきた様々な取組みに、大きく弾みがつくものと期待しています。

また、本大会の成果が全国へと発信され、我が国の食品ロス削減への取組みが一層進展しますことを願っています。

結びに、本大会の開催にあたり格別のご支援とご協力を賜りました関係の皆様へ心から感謝申し上げます。

プログラム

12:00	開場	
13:30	オープニングイベント	「おわら風の盆」
	開会	<p>主催者挨拶 新田 八郎(富山県知事)</p> <p>来賓祝辞 内閣府特命担当大臣 井上 信治氏 農林水産大臣 野上 浩太郎氏(ビデオメッセージ) 環境大臣 小泉 進次郎氏(ビデオメッセージ) 富山県議会議長 上田 英俊氏</p>
14:05	基調講演	<p>賞味期限のウソ 食品ロスはなぜ生まれるのか</p> <p>講師 井出 留美氏 食品ロス問題ジャーナリスト</p> <p>ライオン、青年海外協力隊を経て日本ケロッグ広報室長等歴任。311食料支援で食料廃棄に衝撃を受け誕生日を冠した(株)office3.11設立。食品ロス削減推進法成立に協力した。著書に『食料危機』『捨てられる食べものたち』(3刷)『賞味期限のウソ』(5刷)他。食品ロスを全国的に注目されるレベルまで引き上げたとして第2回食生活ジャーナリスト大賞食文化部門/Yahoo!ニュース個人オーサーアワード2018受賞。</p>
15:05	休憩	

15:20

トークセッション 地域で挑む商慣習の見直し
～食品ロス削減に向けて～

コーディネーター



うしくぼ あきくに
牛久保 明邦氏 一般社団法人日本有機資源協会 会長、東京農業大学名誉教授

長野県生まれ。東京農業大学大学院農学研究所農芸化学専攻修士課程修了。職歴：2011年東京農業大学 教授退職後、同年東京情報大学学長に就任し、2015年退任。現在の役職：(一社)日本有機資源協会会長、(一財)日本土壌協会副会長。専門：土壌学、環境科学、食品リサイクル。社会活動：農林水産省「食料・農業・農村政策審議会 食料産業部会 食品リサイクル 小委員会」、「食品ロス削減に向けた検討会」等の座長等を歴任。著書：「食品リサイクル成功の秘訣」等。

パネリスト



いつじ ひでたか
井辻 秀剛氏
北陸コカ・コーラボトリング株式会社
代表取締役社長

1961年神戸市生まれ。立命館大学を卒業後、1984年P&Gファーマー・イースト・インク入社。大手アカウントの責任者として活躍、1995年日本コカ・コーラ社入社、カスタマー・マネジメント、チャネル戦略の責任者を経て、2007年セールスマーケティングカンパニー、コカ・コーラカスタマーマーケティング社の代表取締役社長に就任。11年間、同社のトップを務めたのち、2019年3月から現職。



さわだ よしひろ
澤田 佳宏氏
北陸中央食品株式会社
代表取締役社長

1982年富山市生まれ。日本大学大学院文学研究科社会学専攻博士前期課程修了。2012年3月北陸中央食品入社、物流商品事業本部配属。2015年常務取締役管理本部長、2017年同社代表取締役就任。



いけだ かずお
池田 和男氏
アルビス株式会社
代表取締役社長

1961年富山市生まれ。近畿大学卒業。2003年4月アルビス入社、執行役員就任。05年6月スーパーマーケット事業部長を経て、06年6月取締役就任。11年4月常務取締役、17年4月専務取締役。18年5月から現職。



いわた しげこ
岩田 繁子氏
富山県婦人会 会長

東砺波郡連合婦人会長、南砺市連合婦人会長等を経て2006年から現職。婦人会活動に携わって28年。地域とともにある婦人会の役割を考えながらマイバッグ持参運動や食品ロス削減をはじめとする地球温暖化防止活動、環境保全活動、男女共同参画推進、家庭教育の振興、防災など、安心安全な地域づくりに取り組んでいる。2010年から全国地域婦人団体連絡協議会副会長、2018年から2020年11月まで同会長を務めた。



さきた ゆうこ
崎田 裕子氏
全国おいしい食べきり運動
ネットワーク協議会 会長
(ジャーナリスト・環境カウンセラー)

1974年立教大学社会学部卒業。出版社で11年間雑誌編集者を務めた後、フリージャーナリストとなる。生活者の視点で社会を見つめ、近年は環境問題、特に「持続可能な循環型社会づくり」を中心テーマに取り組んでいる。環境省登録の環境カウンセラー、内閣府登録の地域活性化伝道師として、環境学習や環境を大切にしまちづくりにも広く関わる。早稲田大学招聘研究員。3R活動推進フォーラム副会長。NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット前理事長。



16:15

大会宣言

16:20

閉会